

知多市観光ビジョン（案）のパブリックコメント実施結果（案）

- 1 意見募集期間 令和5年12月20日（水）～令和6年1月24日（水）
- 2 意見の提出方法 書面で直接、郵送、ファックス又は電子メール
- 3 意見の提出者数 4人（6件）

No.	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
1	17	第3 観光振興の基本的な考え方について 2 基本方針の柱	<p>知多市単独で何かをしようというのは、今のままでは無理があるのではないかと思います。</p> <p>例えば強みであると記載している佐布里池梅林はほんの短い梅の期間しか期待できない。</p> <p>岡田地区に関してはとても魅力的な町だが、アクセスが良くない上に、駐車場も少なく、多くの観光客を受け入れるほど整備されていない。また、知多木綿を売りにしているが、体験出来るところが1か所？販売している店も1店では期待したのにガッカリしてしまう。</p> <p>サントリーウィスキー知多は、全国からの観光客を呼べる1番の目玉になり得るが、工場見学を受け付けていない。など、来たいと思わせるコンテンツがほぼ無い状態です。</p> <p>ただ、私は4年前に知多の雰囲気が気に入って引っ越してきましたが、知多市ではなく、知多半島全体で力を合わせて一大観光スポットにしていきたいと思っています。</p> <p>知多半島は日本でも有数の本当に魅力的なところですよ。（日間賀島もありますし）</p> <p>知多半島にたくさん訪れてくれたら、その後は、そのお客様をいかに知多市へ来ていただくかを考えれば良いので、知多市で1から集客するよりは効率が良いのかと思います。</p> <p>知多市、常滑、半田、阿久比、武豊、美浜、南知多が一つになって知多半島への集客を目指して頂きたいと思っています。</p>	<p>ご意見のとおり、本市が観光振興を進めるうえで、知多半島での広域連携は重要であると考えています。</p> <p>柱5「広域連携によるコバンザメ商法」を進めるため、知多半島に限らず周辺市町の観光資源と結び付けたコンテンツの造成等を実施していく予定です。</p> <p>今回いただいた提案は、アクションプランの参考とさせていただきます。</p>

No.	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
			<p>《知多市で出来る事》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知多市への集客の一番はサントリー知多蒸留所の「工場見学」の受け入れ開始です。 ・そしてサントリー知多蒸留所の知多市限定のウィスキーを発売する。※知多市の工場か酒屋に来ないと買えない限定品を毎年ラベルを変えて発売する。(ネット販売禁止) ・アジアでも強豪の名古屋オーシャンズのオーシャンズフィールドをもっと上手くアピールしてオーシャンズサポーターを知多に呼び込む。(ほとんど知られていない) ※選手とサポーターとの交流イベント実施、新規会員の呼び込み(特典)など ・他県の方も買える知多市のプレミアム付商品券のようなクーポン券を知多半島全域で展開できたら楽しいと思います。(ネットでチケット販売など) <p>大きな枠で考えて小さく掘り下げて行って頂きたいと思います。</p>	
2	16	<p>第3 観光振興の基本的な考え方について 2 基本方針の柱</p>	<p>資料17ページに次の事項が記載されればと思います。</p> <p>柱6 施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの整備 <p>トイレの質と量の確保・増大が不可欠です。来訪者が観光で必ず立ち寄るところはトイレです。トイレの使い心地が再訪の決め手になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内標識 <p>標識の質と量が来訪者の安心・満足を獲得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の目立つところに観光窓口を設けられないか検討する。 	<p>来訪者の満足度を上げ、何度も訪れてもらうために、施設整備は重要であると考えます。</p> <p>柱2「にぎわい創出のための観光客受入れ環境整備」において、ソフト面だけでなく、施設整備等のハード面の整備と一体的に進めていきます。</p> <p>いただいたご意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
3	21	用語説明	<p>知多市の「経済の活性化」に繋がる為の手段の大きな一つとなる「観光」の重要性が、理解できた「ビジョン」です。</p> <p>知多市の集客資源が、的確に余すことなく纏められています。</p> <p>用語説明が注釈に書かれて有るのは良い。しかし、文中に敢えて使わない方が良い箇所もある(説明文がそこで頓挫してしまう)</p> <p>ex) P6(4)オーバーツーリズムや、ラストワンタイム。</p>	<p>オーバーツーリズムやラストワンマイルは、観光分野において近年よく使用される用語であり、今後一般的な表現として活用されていくと考えられることから、このまま計画に記載させていただきます。</p>

No.	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
4	16	第3 観光振興の基本的な考え方について 2 基本方針の柱	計画期間が7年と長い、3年毎のアクションプラン作成、および毎年の見直しに期待。 1. 既存施設を活用のイベント開催に力点を置きたい。特にスポーツ競技会・公式大会の開催プロの競技誘致（サッカー、野球など）	スポーツ大会の誘致等により来訪者を受入れるスポーツツーリズムは、観戦前後における地域消費の拡大が期待されることから、観光振興において効果的な施策と考えます。 スポーツに限らず各施設の管理者が観光を手段として、その施設のポテンシャルを活かしたにぎわい創出に努めてまいります。
	16	第3 観光振興の基本的な考え方について 2 基本方針の柱	2. 名鉄駅発着の市内ウォーキングの企画・実行	
5	8	第2 観光ビジョン策定の背景 (7)2030年までの本市の大規模事業、プロジェクト	3. 金沢IC周辺の広域交流拠点化 ① 道の駅・アウトレットなどの集客施設誘致。 ② 大駐車場の設置で新舞子・岡田・佐布里への交通拠点化。シャトルバスの運行充実で対応する。	金沢IC周辺につきましては、サウンディング型市場調査を実施し、広域交流拠点整備に向けての展望を整理しているところであり、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
6	17	第3 観光振興の基本的な考え方について 2 基本方針の柱	4. 住民参加の計画立案 市民参加のフリーディスカッションでアイデア収集。夢のあるアイデアを公開されたい。	柱4「異業種交流による観光イノベーション」として、新しく積極的なアイデアの発案、実現に向けて、幅広い関係者による異業種交流の場を設けます。 機会を捉えて市民にも参加いただき、観光イノベーションが起きるようなきっかけづくりを行います。 今回いただいたご提案はアクションプランの参考とさせていただきます。